

ランチョンセミナー 1 12月13日（土） 第1会場 12:20 ～ 13:20

司会：大船中央病院

遠藤 豊

「潰瘍性大腸炎の診断と治療」

潰瘍性大腸炎診療における S1P 受容体調節薬の有用性

東京科学大学病院 清水 寛路

潰瘍性大腸炎における腸管エコーの役割：内視鏡診療を支える補完的アプローチ

北里大学北里研究所病院 佐上晋太郎

共催：ファイザー株式会社

ランチョンセミナー 2 12月13日（土） 第2会場 12:20 ～ 13:20

司会：順天堂大学大学院医学研究科 消化器内科学

伊佐山浩通

「悪性大腸狭窄治療戦略の新展開～ Bactrian SR & ジャバラ～」

“Segmental Release”で変わる大腸ステント治療：新しい選択肢

順天堂大学医学部 消化器内科 村上 敬

狙った位置に確実に留置可能な新大腸ステントの使用経験～外科医の立場から～

横浜新緑総合病院 齊藤 修治

共催：オリンパスマーケティング株式会社／SBカワスミ株式会社

ランチョンセミナー 3 12月13日（土） 第3会場 12:20 ～ 13:20

司会：国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

脇岡 範

ICI時代を迎えた胆道癌：内視鏡治療の課題と展望

順天堂大学大学院医学研究科 消化器内科学

富嶋 享

胆道癌薬物療法の新展開 ― 新たな標準治療とその先へ

東京大学大学院医学系研究科 消化器内科

高原 楠晃

共催：MSD株式会社

ランチョンセミナー 4 12月13日（土） 第4会場 12:20 ～ 13:20

司会：埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科

松原 三郎

「良性から悪性まで―胆道ドレナージの最前線」

良性胆道ドレナージの進化とデバイス選択 -REGULUSの有用性-

東京大学医学部附属病院 消化器内科

佐藤 達也

悪性胆道閉塞に対するドレナージ戦略 -REGULUSの可能性-

神奈川県立がんセンター 消化器内科

戸塚雄一郎

共催：日本ライフライン株式会社

ランチョンセミナー 5 12月14日（日） 第1会場A 12:20 ～ 13:20

司会：東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科

伊藤 謙

**「“切る”だけじゃない！
ENGETSU ナイフで広がる内視鏡治療の可能性」**

順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科

高崎 祐介

埼玉医科大学総合医療センター 消化器内科

倉岡 直亮

共催：株式会社カネカメディックス

ランチョンセミナー 6 12月14日（日） 第1会場B 12:20 ～ 13:20

司会：順天堂大学医学部 消化器内科

澁谷 智義

「GALAXI/GRAVITI 試験から紐解く Guselkumab の有用性」

東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科

酒匂美奈子

共催：ヤンセンファーマ株式会社

ランチョンセミナー 7 12月14日（日） 第2会場 12:20 ～ 13:20

司会：日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野

木暮 宏史

「胆膵内視鏡診療の新時代」

画像ナビゲーションを用いた ERCP 手技の精度向上を目指して
～ VisualAID-ERCP プランニングの可能性～

東京大学大学院医学系研究科 消化器内科学

高原 楠晃

新型十二指腸鏡を用いた胆膵内視鏡診療の新たな可能性

順天堂大学大学院医学研究科 消化器内科学

藤澤 聡郎

共催：富士フイルムメディカル株式会社

ランチョンセミナー 8 12月14日（日） 第3会場 12:20 ～ 13:20

司会：国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

脇岡 範

「デバイスの進化で胆道疾患へのアプローチがどう変わる？」

デバイスの進化で変わる胆道病変に対する内視鏡的診断法

京都大学医学部附属病院 消化器内科

松森 友昭

デバイスの進化で変わる内視鏡的トラブルシューティング法

名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学

加藤 晃久

共催：株式会社パイオラックスメディカルデバイス

ランチョンセミナー 9 12月14日（日） 第4会場 12:20 ～ 13:20

「Nexpowder and the Future of GI Hemostasis – New Perspectives and Clinical Evidence–」

司会：The University of Tokyo

Yosuke Tsuji

Beyond Conventional Hemostasis: The Impact of Adjunctive Powder Therapy on
Rebleeding Outcomes.

Inha University Hospital

Don Haeng Lee

共催：センチュリーメディカル株式会社